

牛久：学校周辺に見る自然

第5号 向台小学校

2017年4月25日発行

＜ 春の校庭で生きもの観察 ～⑤その他の動物たち ＞

向台小3年生との春の生きもの観察、最後はカエルなどその他の動物たち。



↑ 成虫で冬をこす、ツチイナゴ。



オオカマキリの卵のう(左：寄生バチが産卵中)と、チャミノガのみの(右)。

まずは、昆虫から。バッタのなかまを見つけました。バッタの多くは卵で冬をこしますが、4月だということにもう羽がきている成虫です。これはツチイナゴ。じつは、成虫で冬をこす仲間なのです。きびしい冬を乗り越えて、今、ここにいるのですね。

続いて、次のクラスを待っている間、グラウンドのフェンスに産みつけられたオオカマキリの卵のうを見つけました。まるで発泡スチロールの断熱材のような部屋の中で卵は寒さから守られ、やがて幼虫がふ化するのだろう…と想像していたら、よく見ると小さな虫がとまっています。寄生バチです。長い産卵管で卵をうみつけていました。

校舎のすみでナガミヒナゲシやノゲシを観察していたときには、その上のドウダンツツジにたくさんのミノムシがついているのを見つけましたね。これはチャミノガのみので、中にはガの幼虫が入っています。この中で幼虫は、寒く乾燥した冬を乗り越えるのですね。



水面に浮いてえさを待つヒメアメンボ(左)と、水面にぶら下がってえさを待つマツモムシ(右)。

池にも昆虫がいます。ヒメアメンボと、マツモムシ。アメンボのなかまは水面に浮いて、落ちてくるえさを食べますが、マツモムシは水面にぶら下がって、落ちてくるえさを食べます。



生きているのか、じっと動かないアメリカザリガニ(左)と、ゆっくりだが動いているタニシ(右)。

池の中には、アメリカザリガニやタニシもいました。これらは、昆虫こんちゅうではありません。では、昆虫こんちゅうとはいったい？ もうすぐ、勉強しますよ。楽しみですね。



さて、この中にカエルがいます(左)。どこにいるでしょう？ ニホンアマガエルです(右)。

写真には写しませんでしたでしたが、池の中には、ヒキガエルのおたまじゃくしがたくさん集まっていた。でも、しきりに鳴ないていたのはヒキガエルではありません。2種類のカエルです。片方は、上のニホンアマガエル。1組さんの時でしたか、サクラの幹みきを登のぼっていましたね。アマガエルは足の吸盤きゅうばんが発達はったつしているの、木登りきのぼが得意とくいなのです。

そして、もう一種類はシュレーゲルアオガエル。アマガエルに少し似ていますが、よく見るともようちがが違います。



体の大きさは、アマガエルより一回り大きいですね。上の小さい方がおす。めすはおすをのせたまま、土に穴を掘ってあわあな状ほの卵じょうかいを産むそうです。うまく産卵さんらんできる場所が見つかるといいですね。

【理科支援員：宮内】

目から鼓膜こまくにかけて黒いすじがないことから、アマガエルと見分けられるシュレーゲルアオガエル。上がおす。